

文京区一般廃棄物処理基本計画（モノ・プラン文京）中間年度見直し（素案）  
パブリックコメントの意見及び意見に対する区の考え方

No.	項目	意見（原文）	区の考え方
1	事業者との連携	レジ袋の有料化やポイント制など、ぜひ販売店の協力を得てレジ袋の削減に取り組んでください。	区ではレジ袋の削減やエコバッグ持参の推進にご協力いただいている店舗をリサイクル推進協力店として認定し、区民にお知らせしています。現状では、レジ袋の有料化やポイント制の導入は各事業所の判断となりますが、実施いただける店舗については区として積極的にPRを行っていきたくと考えております。
2	資源回収の拡充	組成は重量ベースでのものだからでしょうか、出された可燃ごみには紙類がとでも多く入っています。何センチまでなら資源として回収するのか等分別の周知徹底が必要と思います。紙袋に入れての回収も可とすべきです。	紙類のうち紙袋、紙箱、包装紙、パンフレット、封筒、チラシ、コピー用紙、カレンダーなどのリサイクル可能な「雑がみ」については大きさに関わらず集積所で資源として回収しており、小さな紙片であっても雑誌などに挟んで出すことができます。 区では「ごみと資源の分け方・出し方」の冊子やホームページ、Bunkyo ごみダイエット通信などで雑がみの啓発をしておりますが、引き続き分別の周知徹底を図ってまいります。 雑がみは異物の混入を防ぐため、原則としてひもでしばって出していただくことを推奨していますが、紙袋に入れて出された場合でも異物の有無を確認したうえで回収を行っております。
3	資源回収の拡充	容器包装プラの分別回収は賛成です。経費がかかることですが、ごみの減量には有効な政策だと思いません。	現在、容器包装プラスチックの回収については、マテリアルリサイクルを前提に単一素材を回収しやすいよう、特定の品目について拠点回収をしています。 容器包装プラスチックの回収を全面的に実施した場合の、現在のサーマルリサイクルと比べた環境負荷やコストの増減を試算したところ、温室効果ガスの排出抑制効果が薄いにも関わらずコストがかかることがわかったため、現時点で分別回収は検討しないこととします。
4	処理費用負担の検討	ごみの有料化は賛成です。経費がかかることですが、ごみの減量には有効な政策だと思いません。	区民1人1日当たりのごみ量が順調に減っており、家庭系ごみが平成32年度の数値目標を達成できる見込みであることなどから、現時点でごみの有料化は検討しておりません。引き続きごみ減量・3R推進のための施策や働きかけを継続した上でもなお、数値目標に著しく届かないような場合は、有料化導入の是非について検討します。